



平成24年10月22日

株式会社 中国銀行
世界銀行**中国銀行が「世界銀行グリーンボンド」を購入**

当行では、世界銀行が新規に発行する「世界銀行グリーンボンド」を購入いたしました。また、当行では、金融商品仲介業務でお客さまに「世界銀行グリーンボンド」の公募販売をおこないました。（平成24年10月9日（火）～平成24年10月18日（木））

グリーンボンドの購入およびお客さまへの公募販売を同時期におこなうことは日本の金融機関では初の取組みです。

1. 購入概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
購入額面	1,000万米ドル
発行日	2012年10月12日
償還日	2017年10月12日
主幹事	大和証券キャピタル・マーケット・ヨーロッパ・リミテッド

2. 世界銀行グリーンボンドとは

世界銀行が地球温暖化問題に対処するために開発途上国で実施する事業の資金を調達するために発行される社会貢献型債券です。

その対象は、地球温暖化の要因を取り除く事業と、地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処する事業となります。具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。

3. 世界銀行グリーンボンドを取扱う意義

中国銀行では、投資を通じた地球温暖化対策に貢献するという趣旨に賛同し、今回の取組みを決定しました。

世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行は次のように述べています。

「実に48年ぶりの日本での開催となったIMF世銀総会では、日本の多くのみなさまに多大なご支援を賜りました。総会期間中、中国銀行には投資勘定で世界銀行の発行するグリーンボンドをご購入いただき、さらに地方銀行としては初となる個人向けのグリーンボンド売出債をお取扱いいただきました。投資資金の用途とその社会貢献度がより重要視されるなか、グリーンボンドを高く評価いただいた中国銀行グループのみなさま、ならびにご投資いただきました個人投資家のみなさまに深く感謝いたします。お預かりいたしました資金は、世界銀行が責任を持って地球温暖化問題の解決のための貸出プロジェクトに充当いたします。」

4. 世界銀行について

世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）は、1944年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在188の加盟国が出資し運営しています。IBRDは加盟国への貸出・保証に加え、リスク管理サービスおよび分析・助言サービスも提供し、加盟国の公平で持続可能な経済成長と環境保全を両立しつつ、世界の貧困を削減することを目指しています。最終的な目標は、貧困を撲滅し世界中の人々の生活水準を改善することです。貸出資金を調達するために、世界銀行は60年以上にわたり国際資本市場で債券を発行しています。

日本の投資家向け情報は、世界銀行財務局のウェブサイト<http://www.seginsai.org>をご覧ください。

〔ご参考〕

NGOへの寄付について

中国銀行では独自の取組みとして、世界銀行グリーンボンドの販売で得た収益の一部を特定非営利活動法人 アムダ（岡山市北区伊福町3-31-1 理事長 菅波 茂）に寄付いたします。

特定非営利活動法人 アムダについて

1984年の設立。保健医療支援を柱とする国際人道支援活動をアジア・アフリカ・中近東・東欧・北中南米53か国で128件実施（2011年4月現在）。

2006年には、国連経済社会理事会から、日本のNPO法人として初の「総合協議資格」の認証を受けています。

東日本大震災では、緊急救援活動を自ら実施するとともに、海外からの医師団の受入れ窓口として活躍するとともに、岡山県内からのボランティア派遣の指導をおこない、現在でも現地に拠点を建設し、継続的な支援をおこなっています。

詳しくは当団体のウェブサイト<http://www.amda.or.jp>をご覧ください。

以上